

1. 調査研究の概要

1. 調査研究の概要

1.1. 検討の背景と目的

これからの少子化対策の一つとして、次の時代を担う子どもを安全で安心して育てることのできる生活環境整備が求められている。また、そうした生活環境整備の中でも衣食住に次ぐ重要性を有する移動や施設利用について、ユニバーサル社会の実現に向け、「妊産婦」及び「乳幼児連れ」を対象とした外出環境の整備、いわゆる「子育てバリアフリー」が求められている。

これまでの車いす使用者等の身体障害者の移動等円滑化に資するバリアフリー環境の向上の結果、ベビーカーで外出する子育て中の親にとっても円滑かつ快適な移動の実現に貢献するなど、妊産婦や乳幼児連れの外出環境は向上してきた。しかし、子育てバリアフリーに対するニーズは、車いす使用者等に係るバリアフリーへのニーズとは同一ではない。妊産婦や乳幼児連れの期間が一過性であること、少子化により子育ての経験を持たない人の割合が増加していること等により、子育て期とりわけ妊産婦や乳幼児連れでの外出行動に関する実態把握や支援策に関するこれまでの取り組みは必ずしも十分とはいえない可能性がある。

本調査は、安心して子育てができる環境整備に向けた様々な取り組みのうち、国土交通省の施策として取り組むべき課題や方向性について概括的な整理を行った上で、子育てバリアフリーの現状、ニーズ、課題等を明らかにするとともに、有効な施設整備のグッドプラクティス等を紹介する。

本報告書は、こうした観点から行政上の参考資料とすべく、国土交通省総合政策局より（財）国土技術研究センターに委託された調査研究事業として、（財）国土技術研究センターが行った検討成果をとりまとめたものである。

1.2. 検討の体制及びフロー

1.2.1. 検討の体制

(1) 検討会

以下の検討会を組織して検討を行う。

座長	大森 宣暁	東京大学大学院工学系研究科	講師
委員	長谷川 万由美	宇都宮大学教育学部	准教授
委員	八藤後 猛	日本大学理工学部	専任講師
委員	杉山 千佳	子育て環境研究所	代表
委員	中橋 恵美子	NPO 法人わははネット	理事長
委員	松田 妙子	NPO 法人せたがや子育てネット	代表理事

なお、上記委員の他、オブザーバーとして、国土交通省の関係部局の参加を得て検討を進めた。

(2) 検討のスケジュール

第1回（11月13日（金））：調査の進め方及びアンケート調査等の実施内容確認

グッドプラクティスに関する情報提供依頼

第2回（1月21日（木））：アンケート、ヒアリング調査の結果報告、報告書の構成案、

今後の子育て環境のあり方に関する検討

第3回（3月11日（木））：報告書素案、今後の子育て環境のあり方（案）、

とりまとめに向けた作業方針

1.2.2. 検討フロー

以下の項目に沿って調査研究を進めた。

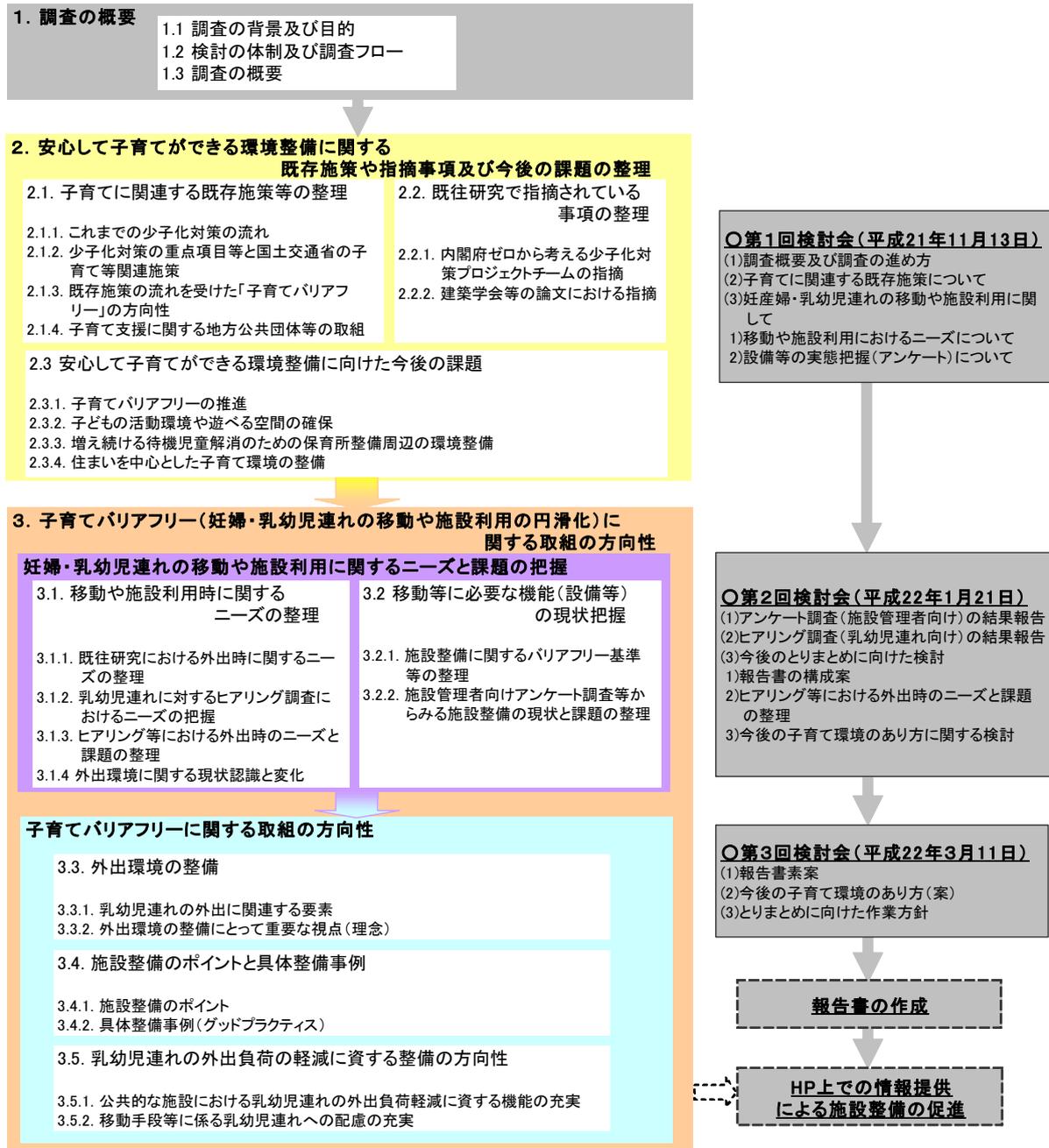


図 1-1 調査フロー